

特別会計予算の概要

予算額 3,895億円 (前年度比0.6%減)

土地区画整理会計

予算額30億円

- 東雁来第2地区土地区画整理事業の工事費の減等により、前年度比6.8%の減となります。

駐車場会計

予算額4億円

- 円山公園第2駐車場の立体化工事費の減等により、前年度比16.1%の減となります。

母子父子寡婦福祉資金貸付会計

予算額2億円

- 資金の貸付額の減により、前年度比9.1%の減となります。

国民健康保険会計

予算額2,285億円

- 被保険者数の減少等により、前年度比0.8%の減となります。
- 一般会計から、一世帯あたり保険料を軽減するための市独自の繰入金53億円を含めて、総額235億円の繰入を受けます。

後期高齢者医療会計

予算額227億円

- 保険料負担金の減に伴う北海道後期高齢者医療広域連合負担金の減等により、前年度比2.4%の減となります。
- 一般会計から、保険料を軽減するための法定の繰入金43億円を含めて総額55億円の繰入を受けます。

介護保険会計

予算額1,325億円

- 居宅や施設の介護保険サービス利用者の増加に伴う保険給付費の増等により、前年度比0.5%の増となります。
- 一般会計から、保険給付に係る費用の市町村負担分(12.5%)など、総額205億円の繰入を受けます。

基金会計

予算額21億円

- 基金の預金等利子と財産貸付収入が減少することにより、前年度比1.3%の減となります。

企業会計予算の概要

予算額 2,750億円 (前年度比2.0%減)

病院事業会計

予算額 271億円
(前年度比0.6%減)

安全で質の高い医療の提供

安全で質の高い医療を提供するため、高度医療機器の更新・整備を行います。また、看護師の負担軽減を図るため、看護事務補助員を増員します。

効率的な経営に向けた取組

多様化する医療ニーズに対応しつつ、安定的かつ継続的に医療サービスを提供するため、地域の医療機関との連携を一層推進するなど、より効率的な病院経営を目指します。

収益的収入	235億円
収益的支出	239億円
差引 ▲	4億円
未処理欠損金	77億円

中央卸売市場事業会計

予算額 42億円
(前年度比1.1%減)

安全で安心な生鮮食料品の供給

安全で安心な生鮮食料品の安定供給を堅持していくとともに、中央拠点市場としての機能強化のため、老朽化した場内の設備機器類の更新を行います。

健全経営に向けた取組

今後とも、老朽化施設の更新など、経費の増加が見込まれる厳しい経営環境の中で、健全な事業運営を継続するため、計画的・効率的な事業執行を行い、引き続き、より一層のコスト削減に努めます。

収益的収入	24億円
収益的支出	26億円
差引 ▲	3億円
未処理欠損金	42億円

軌道事業会計

予算額 29億円
(前年度比38.3%増)

安全の確保

安全運行の確保のため、老朽化した施設の改修や、安全性向上のため既存車両の改良を進めます。

快適なお客さまサービスの提供

街路拡幅事業に合わせて、レールの制振軌道化など既設線の再整備を進めます。

まちづくりへの貢献

既設線停留場のバリアフリー化改修工事を進め、全ての人が利用しやすい路面電車を目指します。

収益的収入	17億円
収益的支出	20億円
差引 ▲	3億円
未処理欠損金	8億円

高速電車事業会計

予算額 844億円
(前年度比7.0%減)

安全の確保

駅ホームでの転落事故や列車との接触事故防止のため、東豊線全駅に可動式ホーム柵を設置します。合わせて、老朽化した東豊線車両の更新を行います。

また、防災対策として南北線高架駅の耐震改修工事等を順次進めます。

快適なお客さまサービスの提供

お客さまの利便性を高めるため、老朽化した改札機のIC対応機への更新を進めます。

まちづくりへの貢献

駅照明設備のLED化などの省エネ対策を進めます。

収益的収入	503億円
収益的支出	433億円
差引	71億円
未処理欠損金	2,434億円

水道事業会計

予算額 715億円
(前年度比4.7%増)

安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水をお届けするため、施設・設備の更新などを計画的に行います。

また、災害対策として、水道施設の耐震化や送水管の多重化、災害時重要施設（医療機関、基幹避難所）へ向かう配水管の耐震化などの事業を進めます。

健全経営の維持に向けた取組

経年劣化に伴う施設の更新などにより、建設改良費が高い水準で推移することが見込まれる厳しい経営環境の中で、施設規模の見直しや延命化などの工夫により支出を抑え、健全財政の維持と更新財源の確保の両立を図るよう努めます。

収益的収入	449億円
収益的支出	360億円
差引	89億円
未処理欠損金	なし

下水道事業会計

予算額 849億円
(前年度比3.5%減)

安全で安心な市民生活の維持

下水道機能の維持向上のため、適切な維持管理と計画的な改築を進めます。また、災害に強い下水道の実現のため、東雁来雨水ポンプ場の整備などの浸水対策や、下水道施設の耐震化を進めます。

環境に与える負荷の低減

水環境を保全するため、合流式下水道の改善に努めます。また、循環型社会への貢献のため、下水道の未利用エネルギーの活用を進めます。

健全で持続可能な経営

計画的・安定的な事業運営に努めるとともに、経営効率化策や人材育成に取組み、健全で持続可能な経営を目指します。

収益的収入	527億円
収益的支出	497億円
差引	30億円
未処理欠損金	なし